



サミュエル・アネスリーの

世界見聞録 - Part 5 -



いよいよ8月になって、老若男女を問わず、たくさんの方々が楽しくスポーツで汗をかいていると思います。日本ではサッカー・野球・テニスなどのスポーツが人気ですが、今回はヨーロッパの非常に面白いスポーツを紹介したいと思います。

水泳や陸上などを除いて、ほとんどのスポーツはチームワーク、あるいはコミュニケーションをとらなければなりませんね。現代のキーワードとなっている「コミュニケーション」は、最近すばらしいものになってきました。数時間内に地球の反対側まで飛んで行ける上に、向こうから出発地に簡単に安く電話ができます。Eメールにしても、電話にしても、現在は私が地球のどこにいても、相手がどこにいても、また誰とでも連絡が取れるようになっていきます。良いにしろ、悪いにしろ、これは携帯電話のおかげでしょう。

日本から出るとどの国へ行っても、携帯電話の大半はフィンランドの製品です。想像しにくいかもしれませんが、フィンランド人はずっと日本人より携帯に夢中な人達です！今持っている携帯がまだ古くなくても、新しいモデルが登場するとフィンランド人はすぐ買いに行くそうです。

どこにいても使えるから非常に便利になっていますが、誰もがどうしても電話しなければいけないときに「あっ！電池が切れた！」と経験したことがあるでしょう。

また、好きな人からの連絡を待ち焦がれていて携帯をじっと見つめることも多いと思います。興奮・期待・怒り・気落ちと、さまざまな気持ちは現在の携帯電話に関わっていると思います。



さて、この雑談はスポーツとどんな関係があるのでしょうか？実はサッカーにサッカーボールが不可欠であるように、携帯電話はこのヨーロッパのスポーツに欠かせないものです。毎年8月に「携帯投げ」の世界大会がフィンランドで行われているからです。

そうです。勘違いではありません。毎年、世界中からフィンランドに集まってくる大勢の人達は砲丸投げと同じように、まだ使える携帯電話を、できるだけ遠くへ投げます！開催者によるとこの情報機器によってもたらされるすべてのフラストレーションや失望をなくすることが目的とのことで、リサイクル団体の支援のもと、リサイクルの宣伝に一役買っているそうです。砲丸より軽いから割と様々な人々に注目されていますし、哲学や宗教的な立場からの視点で、この世との要らないつながりを捨て去ると解釈している人もいます。しかしこういう理由だけでなく、「携帯投げ」の人気はもっと単純な理由から来ると思います。簡単に言えば、おかしくて楽しいからだと思います。型にはまったスポーツ大会で聞く声は声援ですが、この大会で聞くのは声援より笑い声です。

携帯電話は地球的に人々をつなぐように、おもしろさも人々をつなぎます。特に子ども達は、世界大会が開催している間に限って一生懸命に値段が高い携帯を投げることを楽しむそうです。私でもきっと楽しむと思います！

現在、携帯投げの世界大会に出る国はヨーロッパのいくつかの国しかありませんが、日本初の携帯投げチームは伊賀から誕生というのはいかがですか？皆さんで頑張って練習して、来年の8月はフィンランドで大会に出ましょう！

社会を明るくする運動

作文コンテスト審査結果

第58回「社会を明るくする運動」伊賀市実施委員会では、市内の中学生を対象とした作文コンテストを行い、審査の結果12点の作品が入賞されました。

応募された作品には、自分たちの体験を通して、明るい社会についての考えが素直に表現され、未来への展望を感じさせるものでした。

※審査結果（敬称略）

【最優秀賞】

吉川 佳奈（丸山中学校2年）

【優秀賞】

岡嶋 瑠子（桃青中学校2年）

村木 真子（府中中学校3年）

藤岡 史奈（成和中学校3年）

【奨励賞】

福山 帆乃佳（崇広中学校1年）

永井 もゆ（緑ヶ丘中学校1年）

大橋 里奈（柘植中学校1年）

中川 有紗（霊峰中学校2年）

森栄 賢弥（島ヶ原中学校3年）

阪本 祥絵（阿山中学校3年）

中ノ坊 有利（大山田中学校2年）

久木崎 ひかる（青山中学校2年）

【問い合わせ】

本庁厚生保護課 ☎ 22・9650